

科目名	専門分野				ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1	DP2	DP3
	小児看護学				担当教員	専任(基幹)教員		
	小児看護学概論							
履修学年	2年	履修学期	前期	単位数	1	時間数	32	
授業目標	1. 小児看護の歴史的変遷から現在の小児看護の考え方・子どもを尊重することを理解する。 2. 小児各期の成長発達の特徴と特性を理解する。 3. 小児各期の健やかな成長発達を支援する関わりと日常生活支援が解る。 4. 小児各期における成長発達に必要な栄養と、子どもの健全育成を図る食事の意味が解る。 5. 子どもが健やかに育つための保健環境・社会支援が解る。 6. 障害児・児童虐待についての現状と社会的支援に関心を持ち、子どもの権利を守る社会人としての責務を理解する。							
回	学習内容				方法	担当教員		
1	1) 小児看護の特徴と理念 (1) 小児看護の目的と役割 (2) 小児看護の変遷				講義	専任(基幹)教員		
2	(3) 子どもの権利と看護				講義			
3	(4) 小児看護と倫理的配慮 (5) 小児看護で用いられる理論				講義			
4	2) 子どもの成長・発達 (1) 成長・発達とは (2) 成長・発達の進み方 (3) 成長・発達に影響する因子 (4) 成長の評価 (5) 発達の評価				講義			
5	3) 新生児の成長・発達と看護/乳児期の成長・発達と看護 (1) 形態的特徴 (2) 日常生活の世話 (3) 遊びの支援 (4) 事故防止 (5) 育児支援				講義 演習			
6								
7	4) 幼児期の子どもの成長・発達と看護 (1) 形態的特徴 (2) 知的・情緒・社会機能、コミュニケーション機能 (3) 日常生活の世話 (4) 遊びの支援 (5) 事故防止 (6) 育児支援				講義 演習			
8								
9	5) 学童期の子どもの成長・発達と看護				演習			
10	6) 思春期の成長・発達と看護				講義			
11	7) 子どもと家族を取り巻く社会 (1) 児童福祉 (2) 母子保健 (3) 医療費の支援 (4) 予防接種 (5) 学校保健 (6) 食育				講義			
12	8) 障害をもつ子どもと家族の看護 (1) 障害の捉え方 (2) 障害のある子どもと家族のニーズ (3) 障害のある小児と家族の社会的支援				講義			
13	9) 子どもの虐待と看護				講義			
14	10) 唐津地域の子育て支援センターの役割				講義・演習			
15	11) 小児の健やかな発育支援と養育支援				講義・演習			
16	試験				試験			
評価規準 評価方法	課題・筆記試験 100点							
テキスト 参考文献	専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 (医学書院) 専門分野 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (医学書院) 国民衛生の動向							
履修上の 注意点								